

$$\text{総合評点(P)} = 0.35 X1 + 0.10 X2 + 0.20 Y + 0.20 Z + 0.15 W$$

<この係数の意味するもの>

P点 1475点、X1 2381点、X2 787点、Y 111点、Z 2027点、W 900点。この点数はある上場企業における土木一式の「経審」の内容です。X1点 2381点は、完成工事高が1500億円以上2000億円以下です。このくらい工事高があればY点での「経審」対策など必要ないようです。X1で833点(2381×0.35=833.35)をとっています。技術力評点でも405点(2027×0.20=405.4)をとっていますので、合わせて1238点になります。P点におけるX1のシェアは56.5%、Zのシェアは27.5%です。ちなみにY点は22点(111×0.20=22.2)でシェアは1.5%です。

ウェイト係数を全て足すと1となることから完成工事高のウェイトは35%と考えている人もいますが、図1を見て分かるように上限下限が違うので各評点が全て590点以上954点以下で各評点が全く同じ場合にだけこのウェイト通りとなります。したがって、ウェイト通りの会社はあまりないことになります。冒頭の会社は完成工事高と技術力で84%になっています。どこで得点しているかを見ることは「経審」対策上重要です。

それぞれの項目にウェイト係数をかけてP点に換算したのが図2です。この図では最低点の高さと最低点最高点の幅が大切です。完成工事高の得点が高くなっています。最低点が193.9点で、最低点と最高点の差額は680.75点(全体のうちに占める割合は43.7%)になっています。ウェイト係数と比較して最低点最高点の差額の占める割合の高いものは、Z技術力で、23.3%です。最低点も2番目に高く、118点です。平成10年に完成工事高と技術力の実質ウェイトが下げられましたが、まだこの割合が高く、大企業が有利という状況です。しかし、「経審」対策として完成工事高競争を勧めるわけではありません。完工高は0.1億未満から2,000億以上まで20,000倍もの差があります。今後公共工事が減っていく中で完工高を倍増させることは不可能に近いでしょう。今ある完工高を2倍したところで点数はあまり変わらない場合もあります。例えば昨年まで毎年6億円の完工高があった会

社を例に考えてみます。今年12億円と工事が倍増しても平均完工高は9億円です。6億円のX1評点は886点、9億円のX1評点は909点となり、完工高が倍増した初年度のX1評点のアップは23点です。完工高の評点は0.35の係数がかかりますのでP点のアップは0.35×23で約8点です。となれば目標点数に不足する分については、やはり、Y点(経営状況)で獲得すべきです。なぜなら同じ完工高、技術力なのにP点で最高286点もの差がつくのです。皆さんの努力に期待しています。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

図1

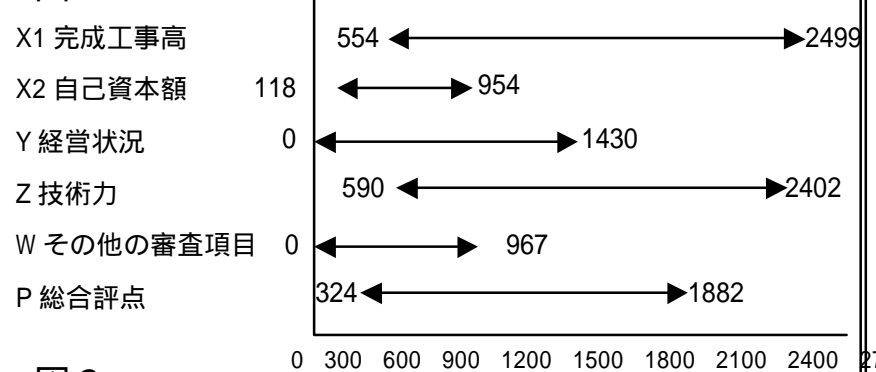
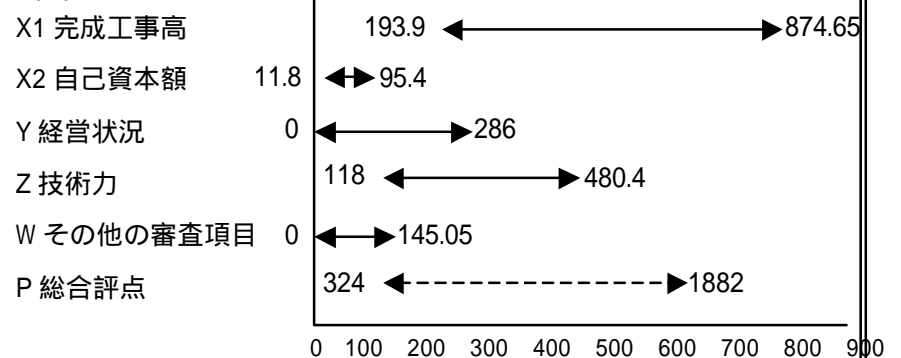


図2



最低点と最高点の差	項目	最低点	割合
680.75	X1 完成工事高	193.9	43.7%
83.6	X2 自己資本額・職員数	11.8	5.4%
286	Y 経営状況	0	18.5%
362.4	Z 技術力	118	23.3%
145.05	W その他の審査項目	0	9.3%
1557.8	P 総合評点	324	100%

「Wisdom99 経審点数アップシミュレーションシステム」では経営状況各指標をウェイト換算してグラフ表示します。どの項目が貴社にとって最も対策の必要があるのかが誰でもわかります。

Wisdom99 / 2000 カタログのご請求は、この用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてご返信下さい(カタログ・デモンストレーションは無償です)。

資料請求・ご注文は右欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所(商品送付先) 〒	
TEL	FAX
e-mail	決算月 月

「WISE FAXNET」では「Wisdom」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求は弊社までご連絡下さい(バックナンバーの請求は「Wisdom99 / 2000」をお持ちのユーザー様に限らせていただきます)。